



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月26日

上場会社名 富士古河E&C株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 1775 URL https://www.ffec.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 日下 高  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画本部長(氏名) 小田 茂夫 (TEL) 044-548-4500  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)  
 (百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	36,868	3.1	1,542	△14.6	1,562	△14.1	961	△20.3
2022年3月期第2四半期	35,747	11.2	1,806	8.6	1,818	5.2	1,206	4.7

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,226百万円(△4.9%) 2022年3月期第2四半期 1,289百万円(12.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	106.95	—
2022年3月期第2四半期	134.17	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	56,533	33,757	58.4
2022年3月期	62,654	33,666	52.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 32,993百万円 2022年3月期 32,941百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	130.00	130.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	150.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	1.2	6,650	0.9	6,650	△0.8	4,400	△4.5	489.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	9,026,561株	2022年3月期	9,026,561株
2023年3月期2Q	33,648株	2022年3月期	33,648株
2023年3月期2Q	8,992,913株	2022年3月期2Q	8,993,084株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2022年11月28日にアナリスト及び機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、急激な円安の進行や物価上昇、新型コロナウイルス感染症の再拡大による景気の下振れ懸念があったものの、各種制限は行われず、経済社会活動の正常化が進んだことなどから、緩やかに持ち直しました。海外においても、経済活動は回復傾向が続きましたが、ウクライナ情勢に伴う原材料及び資源価格高騰の影響による世界的なインフレが進行し、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの属する設備工事業界におきましては、資機材価格の高騰及び納期の長期化が続く中、データセンター・半導体分野などにおける設備投資は引き続き堅調に推移しました。また、当社が事業展開している東南アジアにおいても、新型コロナウイルス感染症に伴う各種制限が緩和され、経済活動が正常化したことから回復傾向が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大の防止に努めるとともに、ESG経営を軸としたマテリアリティ（重要課題）の実現、脱炭素化に向けた設備投資の取り込みや好調な分野へのリソースの傾注などによる物量の確保、集中購買や計画発注等によるコストダウン、海外事業の各拠点の状況に応じた事業構造の改革、生産性向上に向けた業務改善の徹底による働き方改革の推進、IT関連や研究開発等への積極的な投資等を重点課題として、事業環境の変化に柔軟に対応しながら引き続き競争力の強化に向けて取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は553億円（前年同期比44.8%増）、売上高は368億円（前年同期比3.1%増）となりました。利益面では、想定を超える資機材価格高騰の影響及び働き方改革の推進やIT関連投資を中心とした経費の増加などにより、営業利益は15億42百万円（前年同期比14.6%減）、経常利益は15億62百万円（前年同期比14.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億61百万円（前年同期比20.3%減）となりました。

報告セグメントの工事分野及びセグメント別の状況につきましては、次のとおりであります。

報告セグメント	工事分野
[電気設備工事業]	(プラント工事業) 社会インフラ工事、産業システム工事、発電設備工事、送電工事 (内線・建築工事業) 内線工事、建築・土木工事、情報通信工事
[空調設備工事業]	産業プロセス空調設備工事、一般空調・衛生設備工事
[その他]	物品販売及び補修・修理等

## [電気設備工事業]

受注高は358億円（前年同期比33.5%増）、売上高は265億円（前年同期比7.6%増）、営業利益は10億56百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

受注高は水処理施設や宿泊施設の大型案件及び半導体分野の投資需要を取り込んだことなどから前年同期を上回りました。売上高は国内の内線工事及びカンボジアにおける大型商業施設案件の工事進捗が堅調に推移したことから前年同期を上回りました。営業損益は前年同期並みに推移しました。

## [空調設備工事業]

受注高は184億円（前年同期比78.3%増）、売上高は95億円（前年同期比7.6%減）、営業利益は3億5百万円（前年同期比41.3%減）となりました。

受注高は半導体分野で大型案件を取り込んだことなどから前年同期を上回りました。売上高は前期に医薬・医療分野の大型案件があったことなどから前年同期を下回りました。営業損益は売上高の減少及び前年同期の高採算案件影響などにより前年同期を下回りました。

## [その他]

受注高は11億円（前年同期比4.0%増）、売上高は6億円（前年同期比5.5%増）、営業利益は1億81百万円（前年同期比9.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ61億円減少し、565億円となりました。主な要因は受取手形、完成工事未収入金及び契約資産の減少(89億円)、電子記録債権の減少(28億円)、預け金の増加(53億円)であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ62億円減少し、227億円となりました。主な要因は支払手形・工事未払金等の減少(45億円)、未払法人税等の減少(14億円)であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ0億円増加し、337億円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(9億円)、為替換算調整勘定の増加(2億円)、配当金の支払(11億円)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、2022年5月25日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	5,426	5,615
受取手形、完成工事未収入金及び契約資産	31,605	22,630
電子記録債権	5,551	2,681
未成工事支出金	842	1,122
材料貯蔵品	172	201
預け金	12,136	17,498
その他	1,737	1,618
貸倒引当金	△148	△153
流動資産合計	57,324	51,213
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	1,194	1,310
機械、運搬具及び工具器具備品	2,865	2,854
土地	462	462
リース資産	1,448	1,448
減価償却累計額	△3,432	△3,457
有形固定資産合計	2,537	2,617
無形固定資産		
ソフトウェア	377	340
その他	68	58
無形固定資産合計	445	399
投資その他の資産		
投資有価証券	511	490
長期貸付金	78	82
退職給付に係る資産	97	111
繰延税金資産	1,150	1,147
その他	544	473
貸倒引当金	△36	△2
投資その他の資産合計	2,346	2,302
固定資産合計	5,330	5,319
資産合計	62,654	56,533

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	18,224	13,651
短期借入金	191	144
未払法人税等	2,081	628
契約負債	2,170	2,776
完成工事補償引当金	124	124
工事損失引当金	55	37
その他	3,618	2,951
流動負債合計	26,466	20,315
固定負債		
繰延税金負債	5	41
退職給付に係る負債	1,011	935
リース債務	1,026	977
その他	478	505
固定負債合計	2,521	2,460
負債合計	28,987	22,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,970	1,970
資本剰余金	6,636	6,636
利益剰余金	24,380	24,178
自己株式	△30	△30
株主資本合計	32,957	32,754
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97	81
為替換算調整勘定	△112	146
退職給付に係る調整累計額	△1	12
その他の包括利益累計額合計	△15	239
非支配株主持分	724	764
純資産合計	33,666	33,757
負債純資産合計	62,654	56,533

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	35,747	36,868
売上原価	30,373	31,617
売上総利益	5,373	5,250
販売費及び一般管理費	3,566	3,707
営業利益	1,806	1,542
営業外収益		
受取利息	2	6
受取配当金	6	28
為替差益	3	21
保険解約返戻金	11	1
その他	20	10
営業外収益合計	44	69
営業外費用		
支払利息	24	33
コミットメントフィー	5	5
その他	2	10
営業外費用合計	32	49
経常利益	1,818	1,562
税金等調整前四半期純利益	1,818	1,562
法人税等合計	602	629
四半期純利益	1,216	932
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	9	△29
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,206	961

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,216	932
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	△16
為替換算調整勘定	30	296
退職給付に係る調整額	27	13
その他の包括利益合計	73	293
四半期包括利益	1,289	1,226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,268	1,216
非支配株主に係る四半期包括利益	21	9

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,818	1,562
減価償却費	202	215
のれん償却額	14	9
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	29	△17
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△71	△103
受取利息及び受取配当金	△9	△35
支払利息	24	33
為替差損益 (△は益)	△50	92
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	4,613	12,602
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	602	△264
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,678	△4,733
契約負債の増減額 (△は減少)	531	460
その他	△301	△1,089
小計	4,725	8,733
利息及び配当金の受取額	9	35
利息の支払額	△24	△33
法人税等の支払額	△1,585	△2,036
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,124	6,698
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△818	△1,065
定期預金の払戻による収入	872	909
有形固定資産の取得による支出	△215	△168
無形固定資産の取得による支出	△151	△89
差入保証金の差入による支出	△53	△17
差入保証金の回収による収入	13	5
その他	△50	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△405	△427
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△239	83
配当金の支払額	△808	△1,167
非支配株主への配当金の支払額	△15	△17
その他	△47	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,111	△1,149
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	162
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,608	5,284
現金及び現金同等物の期首残高	14,316	16,464
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	36
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,925	21,785

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	電気設備 工事業	空調設備 工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,707	10,383	35,091	656	35,747
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	24,707	10,383	35,091	656	35,747
セグメント利益	1,087	519	1,607	199	1,806

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売及び補修・修理等のサービス部門を含んでおります。

2. セグメント資産については、経営資源の配分の決定及び業績の評価に使用していないため、記載していません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	電気設備 工事業	空調設備 工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,585	9,590	36,175	692	36,868
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	26,585	9,590	36,175	692	36,868
セグメント利益	1,056	305	1,361	181	1,542

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売及び補修・修理等のサービス部門を含んでおります。

2. セグメント資産については、経営資源の配分の決定及び業績の評価に使用していないため、記載していません。

## 4. 補足情報

(セグメント別受注高・売上高・受注残高)

## ① 受注高

区分		前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		前年同期 増減
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)
電気設備工事業	プラント工事業	16,688	43.6	21,149	38.2	4,460
	内線・建築工事業	10,133	26.5	14,660	26.5	4,526
	計	26,822	70.1	35,809	64.7	8,987
空調設備工事業		10,334	27.0	18,429	33.3	8,094
小 計		37,157	97.1	54,239	98.0	17,081
その他の事業		1,091	2.9	1,134	2.0	43
合 計 (うち海外)		38,248 (1,534)	100.0	55,373 (4,115)	100.0	17,125 (2,581)

## ② 売上高

区分		前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		前年同期 増減
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)
電気設備工事業	プラント工事業	15,845	44.3	15,909	43.2	63
	内線・建築工事業	8,861	24.8	10,675	29.0	1,813
	計	24,707	69.1	26,585	72.1	1,877
空調設備工事業		10,383	29.1	9,590	26.0	△793
小 計		35,091	98.2	36,175	98.1	1,084
その他の事業		656	1.8	692	1.9	36
合 計 (うち海外)		35,747 (2,645)	100.0	36,868 (4,051)	100.0	1,120 (1,406)

## ③ 受注残高

区分		前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		前年同期 増減
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)
電気設備工事業	プラント工事業	27,690	49.3	33,887	44.1	6,197
	内線・建築工事業	15,374	27.4	20,839	27.1	5,465
	計	43,064	76.7	54,727	71.2	11,662
空調設備工事業		12,598	22.5	21,724	28.2	9,126
小 計		55,662	99.2	76,452	99.4	20,789
その他の事業		452	0.8	470	0.6	17
合 計 (うち海外)		56,115 (5,252)	100.0	76,922 (4,520)	100.0	20,806 (△731)